

鈴鹿亀山地区 広域連合広報

第40号

平成26年8月発行

目次	広域連合議会の動き	P1
	消費生活センターからのお知らせ	P2
	介護保険からのお知らせ	P3~7
	財政状況・情報公開制度の実施状況・ 個人情報保護条例の運用状況	P8

広域連合議会の動き

平成26年7月7日開催の7月臨時会で、広域連合議会議長に鈴鹿市議会選出の森喜代造議員が選出されました。また、副議長は亀山市議会選出の福沢美由紀議員が、監査委員は鈴鹿市議会選出の中村浩議員が、引き続き務めます。



森 喜代造 議長



福沢 美由紀 副議長



中村 浩 監査委員



鈴鹿亀山地区広域連合議会議員名簿

鈴鹿市議会選出議員

宮本 正一	中村 浩
森 しず子	板倉 操
鈴木 純	石田 秀三
青木 啓文	森 喜代造

亀山市議会選出議員

新 秀隆
福沢 美由紀
尾崎 邦洋
中崎 孝彦

(敬称略)

広域連合のホームページをご覧ください

広域連合議会の会議録をご覧いただけます。また、広域連合の財政状況や介護保険、消費生活に関するお知らせなど、随時最新の情報を発信しています。

ホームページ <http://www.suzukakameyama-kouiki.jp/>

消費生活センターからのお知らせ

平成25年度 相談の状況と傾向

鈴鹿亀山消費生活センターでは、様々な消費生活に関する苦情や相談を受け付けています。平成25年度の相談件数は前年度より11.3%増の1,405件でした。相談された契約や購入金額などの合計は12億円を超えています。また、1件あたりの平均金額は145万円で、中には契約・購入金額が5千万円を超える相談もあり、被害は深刻化しています。

相談内容で一番多かったのは「携帯電話やパソコンなどの電子媒体における不当請求・架空請求」に関する相談で、全相談件数の約15%を占めています。この相談は、幅広い年齢層から多く寄せられています。

相談総件数 1,405件

市別件数		男女別件数		相談方法別件数	
鈴鹿市	1,149件	男	695件	電話	948件
亀山市	219件	女	710件	面談	457件
他市	37件				

相談事例

○携帯電話やパソコンなどの電子媒体における不当請求・架空請求 209件

無料サイトと書いてあったのでクリックしたら「登録完了」と表示され、登録料の請求画面になった。払わなければならないか？

○住宅リフォームや新增築に関するトラブル 78件

突然訪問してきた業者に「瓦が浮いている」と言われ、屋根工事の契約をしてしまった。解約したい。

○送りつけ商法に関する相談 77件

「注文を受けた健康食品を代金引換で送ります」という電話のあと、商品が送られてきて受け取ってしまった。注文した覚えがないので返金してほしい。



出前講座をご利用ください

ご希望に応じて、あなたのまちで消費生活に関する講座を行います。自治会・老人会・PTAの会合や会社の社員研修などにご利用ください。

センターに TELして解決 消費者トラブル

消費生活に関する相談・出前講座と法律相談のお申し込み

鈴鹿亀山消費生活センター

鈴鹿市算所一丁目3番3号 鈴鹿農協平田駅前支店2階

TEL 059-375-7611

FAX 059-370-2900 E-mail skshouhi@mecha.ne.jp



元気なうちから介護予防に取り組みましょう

高齢期の健康維持のためには、生活習慣病の予防や治療だけでなく、年齢とともに現れる体と心の機能低下を予防することが必要です。

地域包括支援センターが、あなたの状態に応じた介護予防をご提案いたします

心身の老化を防ぐためには、ご自身の生活上の問題点を知り、毎日の生活の中で介護予防を実践していくことが大切です。地域包括支援センターがあなたに応じた介護予防をサポートします。心配なことがありましたら、お住まいの地域を担当する地域包括支援センターに相談しましょう。

市	お住まいの地域	担当	所在地(電話・FAX)
鈴鹿	庄野、加佐登、牧田、石薬師、井田川、久間田、椿、深伊沢、鈴峰、庄内	鈴鹿西部 地域包括支援センター (アルテハイム鈴鹿内)	鈴鹿市平田一丁目3番5号 TEL:059-370-3751 FAX:059-370-0887
	飯野①※、河曲、一ノ宮、箕田、玉垣①※、若松①※、神戸	鈴鹿北部 地域包括支援センター (介護老人保健施設ひまわり内)	鈴鹿市神戸三丁目12番10号 TEL:059-384-4165 FAX:059-384-4185
	国府、飯野②※、玉垣②※、若松③※	鈴鹿中部 地域包括支援センター (鈴鹿市社会福祉センター内)	鈴鹿市神戸地子町383番地の1 TEL:059-382-5233 FAX:059-382-8015
	白子、稻生、若松②※、栄、天名、合川	鈴鹿南部 地域包括支援センター (伊勢マリンホーム内)	鈴鹿市南若松町1番地 TEL:059-380-5280 FAX:059-386-6081
亀山	亀山市内全域	亀山 地域包括支援センター 「きずな」 (亀山市総合保健福祉センター「あいあい」内)	亀山市羽若町545番地 TEL:0595-83-3575 FAX:0595-82-8180

※飯野①…西條町、飯野寺家町、西条一～九丁目 玉垣①…矢橋町、矢橋一～三丁目 若松①…北若松町、若松北一～三丁目
飯野②…①以外 玉垣②…①以外 若松②…南若松町 若松③…①②以外

各種介護予防教室を開催しています (参加費無料)

いつまでも元気で、いきいきとした生活を送っていただくために、様々な介護予防教室を開催しています。

○ いきいき度チェックの結果、機能低下が心配される方を対象とした教室（二次予防事業） 機能を向上させるための介護予防教室です。

- ★ 運動教室（ストレッチ・筋力運動・介護体操・リハビリなど）
- ★ 栄養教室（低栄養についての食事指導）
- ★ 口腔教室（食べ物の飲み込み・噛む練習・ブラッシング指導など）

【お問い合わせ先】 お住まいの地域を担当する地域包括支援センター

○ 機能低下の心配がない方を対象とした教室（一次予防事業）

現在の生活機能を維持するための各種介護予防教室を実施しています。

【お問い合わせ先】

- ・ 鈴鹿市にお住まいの方 鈴鹿市長寿社会課 TEL059-382-7935
- ・ 亀山市にお住まいの方 亀山市高齢障がい支援室 TEL0595-84-3313

65歳以上の方はぜひやってみましょう いきいき度チェック

介護予防はまず自分の生活や心身状態を知ることから始まります。
 この表の25の質問に「はい、いいえ」で答えるだけで、あなたの状態がわかります。
 65歳以上の方はぜひやってみましょう。判定は右のページをご覧ください。
 (※ここでは、いきいき度チェックシート32項目のうち厚生労働省の示す基本25項目を掲載しました。)

質問項目		回答	
日常生活	1	バスや電車で1人で外出していますか(自家用車の運転を含む)	はい(0点) いいえ(1点)
	2	日用品の買い物をしていますか	はい(0点) いいえ(1点)
	3	預貯金の出し入れをしていますか	はい(0点) いいえ(1点)
	4	友人の家を訪ねていますか	はい(0点) いいえ(1点)
	5	家族や友人の相談にのっていますか	はい(0点) いいえ(1点)
運動機能	6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	はい(0点) いいえ(1点)
	7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	はい(0点) いいえ(1点)
	8	15分位続けて歩いていますか	はい(0点) いいえ(1点)
	9	この1年間に転んだことがありますか	はい(1点) いいえ(0点)
	10	転倒に対する不安は大きいですか	はい(1点) いいえ(0点)
栄養	11	6ヶ月で2~3Kg以上の体重減少がありましたか	はい(1点) いいえ(0点)
	12	BMI(体重指数)が18.5未満ですか BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m) ※身長はメートルで計算	18.5未満 18.5以上 はい(1点) いいえ(0点)
お口の健康	13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい(1点) いいえ(0点)
	14	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい(1点) いいえ(0点)
	15	口の渇きが気になりますか	はい(1点) いいえ(0点)
外出	16	週に1回以上は外出していますか	はい(0点) いいえ(1点)
	17	昨年と比べて外出の数が減っていますか	はい(1点) いいえ(0点)
物忘れなど	18	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか	はい(1点) いいえ(0点)
	19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	はい(0点) いいえ(1点)
	20	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい(1点) いいえ(0点)
心の健康	21	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	はい(1点) いいえ(0点)
	22	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	はい(1点) いいえ(0点)
	23	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	はい(1点) いいえ(0点)
	24	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	はい(1点) いいえ(0点)
	25	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	はい(1点) いいえ(0点)

75歳以上の方には「いきいき度チェックシート」を個別配付しました

75歳以上の方(介護保険の要支援、要介護認定を受けている方を除く)には、7月下旬にいきいき度チェックシートを郵送しました。まだ回答されていない方は、速やかにご返送いただきますようお願いいたします。なお、回答いただいた方には、回答結果に基づくアドバイスと介護予防事業のご案内をお届けします。

～見つけよう老化のサイン～ 点数が高い方は要注意！



回答欄の点数を合計したら、下表に当てはめてみましょう。

ご自分の状態はいかがでしたか？介護予防のためには、自分の状態を知ることが大切です。定期的に生活機能をチェックし、気になる傾向がみられたら、お近くの地域包括支援センターに早めにご相談ください。

合計点数	評価
項目1～20 生活機能全般	
0～9点	生活機能は高いと考えられます。
10点以上	生活機能が低下しているようです。 生活機能は、努力によって維持・改善することができます。無理のない範囲で身の回りのことを自分でできるように心がけるとともに、介護予防教室などへの参加もご検討ください。
項目6～10 運動機能	
0～2点	運動機能は比較的高いと考えられます。
3点以上	運動機能が低下しているようです。 筋力の衰えから転倒・骨折につながる可能性があります。適度に体を動かすことによって、運動機能を維持・改善できます。運動教室への参加をご検討ください。
項目11～12 栄養	
0～1点	栄養状態は比較的良好と考えられます。
2点	食事の見直しが必要と考えられます。 低栄養になると筋力が衰えたり、病気にかかったりしやすくなります。食事の内容や食べ方を見直してみてください。また、栄養教室への参加もご検討ください。
項目13～15 お口の健康	
0～1点	お口の健康状態は比較的良好ようです。 食後の歯磨きを続けましょう。噛み合わせに不具合があるときは歯科医にかかりましょう。
2点以上	口腔機能が低下しているようです。 うまく食べ物を噛み砕いたり飲み込んだりできないと、肺炎や低栄養など健康の悪化につながります。食べやすいように調理方法や献立を工夫し、よく噛んで食べましょう。また口腔教室への参加をご検討ください。
項目16～17 外出	
1点以上	閉じこもりがちな生活です。 家に閉じこもりがちだと全身の衰弱や認知症、うつなどを招きやすくなります。買い物や散歩など、外出する時間を作ってみましょう。
項目18～20 物忘れなど	
1点以上	認知機能の低下が疑われます。 物忘れ等により、生活機能が低下するおそれがあります。きちんとした食事、睡眠、運動などの正しい生活習慣は認知症の予防につながります。正しい生活習慣で脳を若々しく保ちましょう。
項目21～25 心の健康	
2点以上	うつの傾向があります。 うつ状態により活動量が減ると、心身の衰えを招きやすくなります。もしかして…と思ったら早めに専門機関を受診しましょう。

65歳以上75歳未満の方で「いきいき度チェックシート」の個別配付をご希望の方は、下記担当までご連絡ください。

【担当】鈴鹿亀山地区広域連合 介護保険課 管理グループ
TEL：059-369-3204 FAX：059-369-3202

第6期介護保険事業計画を策定しています

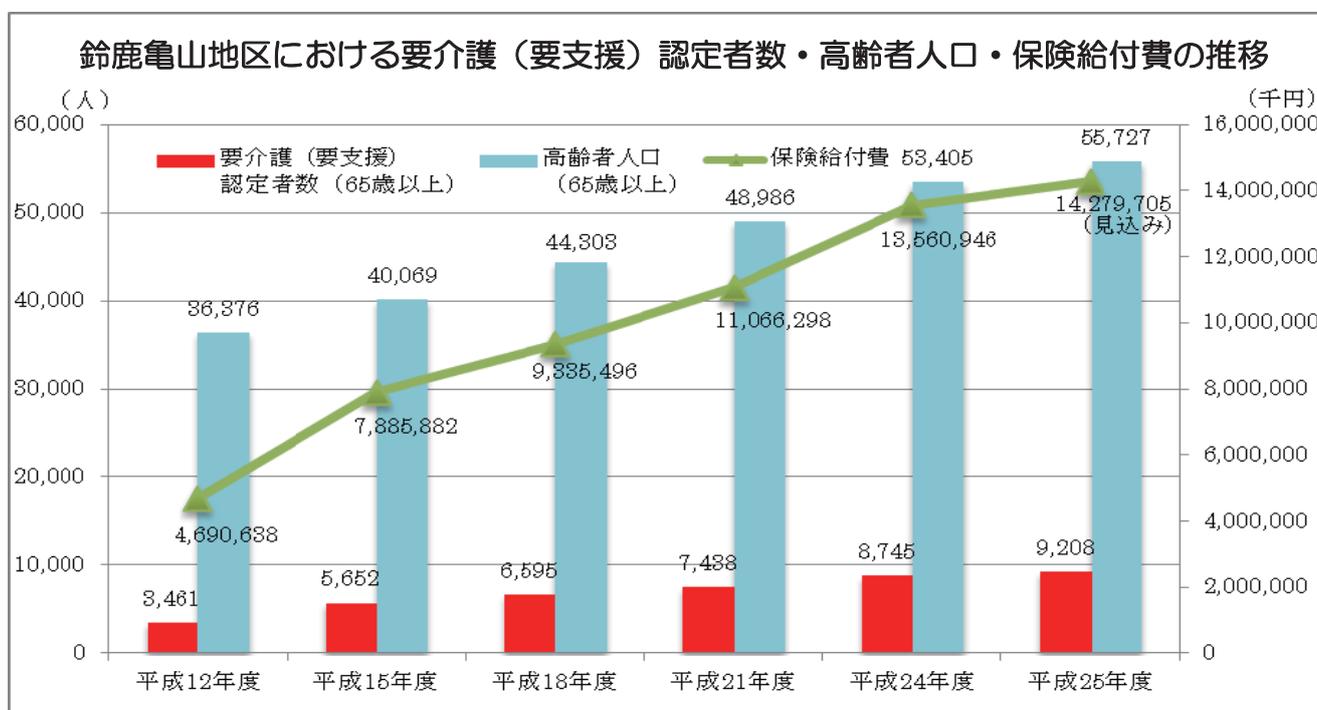
平成12年に導入された介護保険制度は、3年ごとの見直しを繰り返し、本年度は第5期の最終年度となっています。

現在、本広域連合では、平成27年度から平成29年度までの3年間の計画となる「第6期介護保険事業計画」の策定を進めています。



介護をとりまく状況

平成26年3月末現在、鈴鹿亀山地区の全人口は250,719人、高齢者（65歳以上）人口は55,727人（高齢化率22.2%）、また、高齢者の要介護（要支援）認定者数は9,208人（認定率16.5%）となっています。



介護保険制度は、介護を社会全体で支える仕組みとして、私たちの生活の中に着実に浸透・定着してきた一方で、介護給付費は年々増大している状況です。

いわゆる「団塊の世代」が75歳となる平成37年を見据え、社会全体で高齢者を支える仕組みに向けた環境整備が必要となっています。

第6期介護保険事業計画策定のポイントと計画の進め方

介護保険制度の改正を踏まえながら、高齢者の方々が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域におけるさまざまな支援やサービスを包括的に提供する体制である『地域包括ケアシステム』の構築に向け、次の5つのポイントを重点に計画に盛り込んでいきます。

ポイント 1	在宅サービス、施設サービスの方向性
医療と介護の両方を必要とする方々が、地域での生活を継続するために、今後の在宅サービス、施設サービスの充実に向けた方向性の検討。	
ポイント 2	生活支援サービスの整備
予防給付（訪問介護と通所介護）を新しい総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）へ移行していくにあたり、多様なサービス主体による多様な生活支援サービスの確保、高齢者の社会参加の場の整備に向けた方向性の検討。	
ポイント 3	医療・介護連携の推進
自宅でのターミナルケア（終末期医療）、看取りを可能とする在宅医療の仕組みづくりや、医療と介護の連携によって、重度になっても自宅で介護・療養生活を送ることができるサービス体制づくりの整備に向けた方向性の検討。	
ポイント 4	認知症施策の推進
認知症高齢者が地域において自立した日常生活を送ることができる社会の実現に向け、認知症の早期発見・早期対応策と地域における見守り体制の整備に向けた方向性の検討。	
ポイント 5	住まいの確保
高齢者の日常生活の支援や保健・医療・介護などのサービスが提供される前提となる住まい（公営住宅、サービス付き高齢者向け住宅など）の充実に向けた方向性の検討。	

また、第1号被保険者（65歳以上の方）の介護保険料は、計画期間中の保険給付費等を見込んだ上で算定します。策定にあたっては、学識経験者をはじめ保健医療・福祉関係者及び公募市民委員による策定委員会を設置し、策定作業を進めています。

アンケート「高齢者介護に関する調査」へのご協力ありがとうございました

計画策定作業に先立ち、本年1月に鈴鹿亀山地区の住民の皆様や介護事業所の従事者の皆様など約6,000人を対象に、「高齢者介護に関する調査」を実施しました。

その結果の一部をご紹介します。

高齢者の暮らしを支える上で行政に希望すること

全般に「予防施策・介護サービスの充実」を希望されている一方、サービスの担い手側（介護事業所の従事者等）では、地域での支え合いによる「日常生活への支援」も重要視されています。

求められる生活支援サービス

高齢者の方は、家事や外出に対する支援よりも、話し相手や見守り等に関する手助けを求めています。
一方、サービスの担い手側（介護事業所の従事者等）では、これに加えて、「ごみ捨て・ごみ出し」や「外出への同行」などの生活支援サービスも必要だと考えています。

在宅医療（看取り）について

「自宅での看取り」については、「できないと思う」が50%以上に上りました。
在宅医療には、「急な病状の変化への不安」や「経済的な負担への不安」が課題として浮かび上がりました。

この結果は、事業計画策定のための大切な資料とさせていただきます。

アンケート調査結果の詳細については広域連合ホームページの他、介護保険課窓口でも閲覧可能です。（HPアドレスは表紙をご覧ください。）

平成25年度下半期財政状況

平成25年度の鈴鹿亀山地区広域連合の予算について、平成26年3月31日現在の財政状況をお知らせします。

1 一般会計 [執行状況]

歳入

(単位 千円・%)

款	予算現額	収入済額	執行率
分担金及び負担金	81,274	77,049	94.8
県支出金	2,464	62	2.5
繰越金	62	62	100.0
諸収入	541	38	7.0
合計	84,341	77,211	91.5

[公債及び一時借入金]・・・現在高なし

歳出

(単位 千円・%)

款	予算現額	支出済額	執行率
議会費	481	219	45.5
総務費	62,447	50,634	81.1
民生費	83	0	0.0
商工費	21,068	18,604	88.3
諸支出金	62	0	0.0
予備費	200	0	0.0
合計	84,341	69,457	82.4

2 介護保険事業特別会計 [執行状況]

歳入

(単位 千円・%)

款	予算現額	収入済額	執行率
保険料	3,394,231	3,384,401	99.7
分担金及び負担金	2,260,778	2,267,750	100.3
使用料及び手数料	150	215	143.3
国庫支出金	3,137,644	3,151,487	100.4
支払基金交付金	4,205,191	3,811,188	90.6
県支出金	2,151,167	2,139,171	99.4
財産収入	11	11	100.0
繰入金	19,593	0	0.0
繰越金	109,496	109,495	100.0
諸収入	907	7,511	828.1
合計	15,279,168	14,871,229	97.3

歳出

(単位 千円・%)

款	予算現額	支出済額	執行率
総務費	391,670	271,830	69.4
保険給付費	14,470,187	13,184,812	91.1
地域支援事業費	313,017	159,719	51.0
公債費	116	0	0.0
諸支出金	99,178	39,785	40.1
予備費	5,000	0	0.0
合計	15,279,168	13,656,146	89.4

[公債及び一時借入金]・・・現在高なし

3 財産

(単位 千円)

基金	現在高
介護給付費準備基金	150,547



4 公金の運用状況

(単位 千円・%)

運用の種類	金額	利率	備考
普通預金	1,313,563	0	指定金融機関
定期預貯金	60,000	0.025 - 0.030	10,000×6金融機関

情報公開制度の実施状況・個人情報保護条例の運用状況

平成25年度における情報公開制度の実施状況及び個人情報保護条例の運用状況について公表します。

【情報公開制度実施状況】

- 1 公文書の開示の請求件数 0件
- 2 不服申立ての件数 0件

【個人情報保護条例運用状況】

- 1 個人情報の開示等の請求件数 5件

開示請求			訂正請求	利用停止等請求
開示	部分開示	不開示		
2件	3件	0件	0件	0件

- 2 不服申立ての件数 0件